

慧林寺便り

『恩徳讃について』

親鸞聖人の御正忌報恩講の月を迎えております。今月の寺の掲示版にも書かせて戴きました。私自身歳を重ねたためでしょうか、聖人がこのご和讃に込められた深い思いを感じます。実に厳しい表現ですね。

「如来大悲の恩徳は

身を粉にしても報ずべし
師主知識の恩徳も

骨をくだきても謝すべし」

波瀾万丈の人生を「弥陀の誓願の不思議に助けられ

た」感激を「如来大悲の恩徳は」とお示しになったのではないかと思えます。

我ら浄土真宗の門徒にとつて最も親しみのあるご和讃ですね。法座の終わりに必ず恩徳讃を斉唱します。

宗祖の生活は「知恩報徳」が日常だったと思われる。……報ずべしと……謝すべしと出て来ます。

この「べし」については「勧誘や命令の意を表現す

ること、……するがよからう。……しなければならぬ」の意味に受け取られていると聞いた事があります。

親鸞聖人がお読みになった多くのご和讃の中でもっとも感動をもって詠われているものだと思います。

信心を戴いた行者に賜る、現生十種の益（八番組）に「知恩報徳の益」が出て参ります。このことからこの「べし」の意味合いが大切なのだと考えています。

親鸞聖人ご自身の生涯が、知恩報徳の心をもって貫かれています。

宗祖が正信偈をご制作にあたって、「ここをもつて知恩報徳のために宗師（曇鸞大師）の釈を披きたるに

言わくと出て来ます。さらに、「しかれば大聖の真言に帰し、大祖の解釈に閱しして、仏恩の深恩なるを信知して、正信念仏偈を作りて曰わく」と述べておられます。

私の心の中に閉ざされた闇の中から、深い悲しみと共にどこまでも寄り添って離れない心に触れるとき、人ははじめて自分の存在を省み、悲歎するのだと思います。「如来大悲」は、私に常に働き続けて下さる阿弥陀様の願心に他ならないのです。

その願心に触れるとき有難いと感じまた恥ずかしと感じずにはおられない御正忌報恩講です。

(住職)

除夜の鐘と

修正会



今年も残りあとわずかとなり、恒例の除夜の鐘が目前に迫って来ました。

毎年好評の年越そばや甘酒も充分用意させて頂いておりますので、是非ご賞味ください。

12月31日午後11時45分頃、御住職の第一打、副住職の第二打に続き、お並びの御門徒様から順番に鐘を打ちます。夜空に響く鐘の音に、過ぎし一年の思いと来年の希望が交差する清らかな瞬間です。

修正会は午前0時15分頃から本堂にて始まります。一人でも多くの御門徒様とご一緒に新年をお迎えしたいものです。

ご案内

新年交礼会と

餅つき大会開催

来る平成31年1月9日(水)午後1時より、慧林寺一階ホールにて新年交礼会を予定しております。

毎年好評の美味しい食事と豪華な賞品が当たるビンゴゲームや余興の他に、新年餅つき大会も開催致します。皆様楽しんで頂ける新年交礼会に皆様のご参加お待ちしております。

尚、当日の定例法座は午前11時よりお参りがありません。年初めの定例法座ですので皆様のお越しをお待ちしております。

会費 3千円

ご参加希望者は、年末までに寺務所までお申し込みください。多数の参加をお待ちしております。

浄土真宗東本願寺派のお参りの作法

・お焼香の仕方

まずご本尊に一礼し、お香を右手の親指、人差し指、中指ひとつまみしそのまま香炉にくべます。(二回を推奨しております。机の上に香台がある場合は、左手を机に添えます。また浄土真宗では額に持ち上げることはいたしません。)

次の人のためにお香を平らに整え、合掌をします。最後にご本尊に一礼をします。

・念珠の持ち方

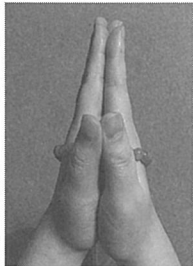
基本的に当派は、念珠の輪を合掌した手の親指以外に通します。一輪念珠は房を下にして両手を通し合掌をします。(写真①、②)

二連の念珠は八の字にねじり、二輪を両手に掛け、房を左側に垂らします。(写真③、④)

①



②



③



④



合掌をしていないときは、左手に持つておきます。

平成三十一年度 年回法要表

回・忌	死亡年	回・忌	死亡年
1周忌	平成30年(2018年)	(23回忌)	平成9年(1997年)
3回忌	平成29年(2017年)	25回忌	平成7年(1995年)
7回忌	平成25年(2013年)	(27回忌)	平成5年(1993年)
13回忌	平成19年(2007年)	33回忌	昭和62年(1987年)
17回忌	平成15年(2003年)	50回忌	昭和45年(1970年)

上の表は平成31年度の年回法要に当たる死亡年を表したものです。

年回法要は祥月命日の当日か、それより早めにお勤めするのが一般的です。また二十三回忌と二十七回忌を併せて二十五回忌にお勤めされても大丈夫です。

亡き人の報恩を忍び、家族・親類が仏前に集い、仏縁を通して仏教の教えを戴きましよう。

婦人会だより

去る10月30日、平成30年度慧林寺婦人会報恩講並びに会員物故追悼法要が厳修されました。

御生前、聴聞にはげまれ婦人会にご尽力いただきました方々を偲びお参りさせていただきました。

ご住職に御法話をさせていただきました。

終了後、総会に移り、決算報告、監査報告に続き次年度の婦人会行事予定などの報告がありました。

平成29年11月～30年度
10月までの物故者会員
(敬称略)

土田トミヨ・吉野ヤチエ
吉田 フミ・塚本とし子

○婦人会費

年4回、小冊子『さくら』を配布しています。

年 2500円

新会員の参加をお待ち申し上げます。



お知らせとお願い

● 声明講習会

12月9日(日)

1月10日(木)

2月9日(土)

午前11時より1時間程度
練習いたします。

25日の婦人会定例の前に
も自習となりますが声明講
習がごさいます。

● おみがきの

お手伝い

12月20日(木)

午前9時より

年末のお忙しい中、誠に
恐縮ですが、おみがき等の
お手伝いをお願いします。

● 維持費・管理費 の納入のお願い

御門徒の皆様には厳しい
経済状況の中、寺の健全運
営に御理解・御協力を賜り
誠に有り難うございます。
毎年、

維持費 年 9000円

浄蓮堂(納骨堂)をお持ち
の方には管理費として

年 5000円

を毎年お願いしております。
尚、平成30年度納骨堂管
理費が未納の方には郵便振
替用紙を同封してありま
す。恐れ入りますが今年度
中に納入ください。

● 年末年始の休み

12月29日から1月4日
迄、月参りはお休みとさせ
て戴きます。休み期間中の
月忌参りの御門徒様には日
にちを変更してお参りさせ
て頂きます。

尚、祥月・年忌法要等の
臨時法要にはお伺い致しま
す。

● 『百佛百花草』

ひやくぶつひゃっかしやう

慧林寺副住職のご実家であ
る妙清寺、ご住職の本多
良之氏の本が一月より発売
いたします。本多氏が描い
た絵葉書と分かりやすい法
話を一冊の本にしました。
ぜひ皆様お手にとってみて
下さい。

一冊 900円

編集後記

今年初雪が遅かったで
すね。
だんだんと寒さも厳しく
なります。皆様お体に気を
つけてお過ごし下さい。



平成30年12月5日発行

「慧林寺便り」第103号

札幌市豊平区豊平4条8丁目1-2

浄土真宗東本願寺派

慧 林 寺

発行人住職 羽 部 大 仁

電 話 811・7624番

FAX 811・2828番

振 替 02701748368

ホームページ <http://erinjinet>

E-Mail info@erinjinet